
平成20年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成20年3月3日

質問者（質問順）

- 1 望月 康弘 委員（公明党）
- 2 工藤 裕一郎 委員（民ヨコ）
- 3 杉山 典子 委員（無所ク）
- 4 関 美恵子 委員（共産党）
- 5 斉藤 達也 委員（自民党）
- 6 角田 宏子 委員（自民党）
- 7 森 裕之 委員（民主党）

市民活力推進局

局 別 審 査

1 望 月 康 弘 委員（公明党）

1 市民活力推進局の予算について

- (1) 20年度予算編成にあたっての基本的な考え方について伺いたい。
- (2) 具体的にどのような点に配慮されてどのような事業を編成されたのか伺いたい。

2 身近な地域・元気づくりモデル事業について

- (1) 身近な地域・元気づくりモデル事業の背景について伺いたい。
 - (2) 身近な地域・元気づくりモデル事業の概要について伺いたい。
 - (3) 19年度のモデル地区の取組状況について伺いたい。
 - (4) 20年度の展開について伺いたい。
- (要望) 地域での多様な取組を市内各所に広げるとともに、モデル事業について、評価・検証を行い、市民にとって暮らしやすい地域づくりが進むよう、区局が連携して取組んでいただくことを要望する。

3 魅力ある窓口づくり推進事業について

- (1) 19年度魅力ある窓口づくりモデル事業における港北区の取組の概要について伺いたい。
 - (2) モデル事業を進めるにあたり区と局がどのように連携しながら取り組んできたのか。
 - (3) 20年度事業の重点対象区である中区では、どのような窓口を目指すのか、中区長に伺いたい。
 - (4) 保土ヶ谷区では、どのような窓口を目指すのか、保土ヶ谷区長に伺いたい。
 - (5) モデル事業の成果を20年度の取組にどのようにつなげていくのか。
- (意見) 市民満足度の向上を目指し、今後とも区と局が連携しながら魅力ある窓口づくり推進事業の拡充を期待する。

4 若者向け暴力予防啓発事業について

- (1) 19年度における若者向け暴力予防啓発事業の内容と実績について、人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。
- (2) 若者向け暴力予防啓発事業の今後の実施予定について、人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。
- (3) 若者向け暴力予防啓発事業を実施していくうえでの課題とその対応について、人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。

(要望) 暴力は若者だけでなく、家族の中であっても深刻な暴力にまつわる問題がある。他都市では、既存の仕組みではカバーしきれない被害者を支援するため、独自の要綱を設けているところもあるが、本市ではそこまでの対応がなされておらず、現状においては対応策の検討もなかなか進んでいないようです。多くの分野において先駆的な取組を進めている横浜市として、国の動きを待つことなく、こうした支援を必要としながらも見逃されがちな面にもしっかりと目を向けた検討をしていただき、誰もが安心して暮らせる横浜の実現に取り組んでいただくことを要望する。

5 働きやすく子育てしやすい横浜の企業支援について

- (1) 働きやすく子育てしやすい横浜の企業支援事業を実施する背景について、改めて人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。
- (2) この企業支援事業の横浜市としての特色について、人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。
- (3) どのような取組を評価し、事業所の認定・表彰を行っているのか、人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。
- (4) 認定・表彰事業所に対して、どのような支援が行われるのか、人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。
- (5) 20年度の募集は、どのようなスケジュールで行っていくのか、また、今後どのくらいの事業所を認定・表彰していくのか、人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。

- (6) この働きやすく子育てしやすい横浜の企業支援事業を今後も実施していくうえでの課題は何か、人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。
- (7) ワーク・ライフ・バランスをさらに進めていくため、本市においても関係局の連携を強めるための全庁的な取組が必要と考えるが、阿部副市長の考えを伺いたい。
- (意見) 「よこはまグッドバランス賞～働きやすく子育てしやすい企業～」の取組を一層広め、男女ともに夢や希望を実現し、多様な人材が能力を発揮して活躍できる社会を目指していただきたい。

6 横浜アートサイト連携事業について

- (1) 市域全体で地域特性を活かした文化芸術によるまちづくりを進めるにあたって、基本的な考え方を伺いたい。
- (2) 横浜アートサイト連携事業をどのように進めていくのか。
- (3) アートサイト連携の効果として何を期待しているのか。
- (4) アートサイトの連携をコーディネートする役割が重要と考えるが、誰がその役割を果たすのか。
- (意見) アートサイトの連携をコーディネートするうえで、財団のアートマネジメント人材の積極的な活用を期待する。

7 クラシック・ヨコハマ推進事業について

- (1) 全国大会を契機に、本市ではクラシック・ヨコハマを開催したとのことだが、この事業を実施するねらいは何か。
- (2) クラシック・ヨコハマの19年度の実績について伺いたい。
- (3) クラシック・ヨコハマの実績の中で、横浜ならではの取組は何か。
- (4) 20年度の事業内容はどのようなものか、また、課題は何か。
- (意見) 横浜アートサイト連携事業、クラシック・ヨコハマ推進事業などは「文化芸術による街づくり」だけでなく、「子どもの文化芸術活動の充実」「芸術家の育成・支援」などにも効果的なものと捉えているので、今後も積極的な展開を期待する。

1 自衛官募集事務について

(1) 区役所の窓口では、自衛官の募集事務について、どのように取り扱っているのか。

(2) 自衛官の募集事務に関しては、窓口対応のほか、どのような広報活動を行っているのか。

(要望) 自衛官募集事務は、募集案内所との連携を密にしながら事務を進めてほしい。さらに、区役所への懸垂幕や横断幕の展張や電光掲示板などによる案内など、積極的な広報活動にも務めていただきたい。

2 住民基本台帳カードについて

(1) 全国及び本市における住基カードの交付状況について伺いたい。

(2) 19年度になってから、交付数が増加した理由を伺いたい。

(3) 特別交付税措置の拡大を利用して、住基カードを無料化する考えはないのか。

(4) 住基カードの普及について、どのように考えているのか。

(意見) 積極的に住民基本台帳カードの普及に努めるよう様々な方面から検討していただきたい。

3 インターネット広報について

(1) インターネット広報の今後の課題と、20年度の具体的な取組について、伺いたい。

(2) 市ホームページのCMS (コンテンツ・マネジメント・システム) 導入に合わせて、市全体として、ある程度の統一性を持たせて行くべきと思うが、どうか、最高情報統括責任者 (CIO) である、阿部副市長に伺いたい。

(意見) 情報にたどり着きやすく、検索しやすいホームページ作成に向けた努力をお願いしたい。

4 新市政広報紙について

- (1) 「広報よこはま」市版の増ページでは対応できないのか。
 - (2) 情報の更新度合が月一回のペースだと、どのような課題が生じているのか。
具体的な事例をあげて説明していただきたい。
 - (3) 他の政令指定都市ではどのようなペースで広報紙を発行しているのか。また、
県下の他の市の状況はどうなっているのか。
- (要望) コストに見合った分かりやすい広報紙を作成するとともに、広報効果の
検証をしっかりと行っていただきたい。

5 自治会町内会への加入率と加入促進策について

- (1) 過去3年間の自治会町内会への加入率の推移はどのようになっているのか。
 - (2) 未加入の理由をどのように考えているのか。
 - (3) 未加入者が2割もいる状況でよいと考えているのか。
 - (4) 加入をより強く促す方策をとるべきではないか。
- (意見) 区局と地域が連携して、積極的に自治会町内会への加入促進に向けて取
組んでいただきたい。

1 戸籍の電算化について

- (1) 戸籍事務を電算化することのメリットは何か伺いたい。
 - (2) 電算化後は、戸籍事務の一部を民間に委託すると聞いているが、どの部分を民間が担うのか伺いたい。
 - (3) 電算化にあたって、システム上、個人情報をどのように保護していくのか。また、業務の委託化にあたっては、民間従事者に対し、個人情報保護の面でどのような対策をとるのか伺いたい。
 - (4) パスポート申請の際、氏名の「ふりがな」が違っていたというケースがある。なぜ、このようなことが生じるのか伺いたい。
 - (5) 全国的な問題だと思うが、他の政令市ではどのように対応しているのか伺いたい。
 - (6) 戸籍についても電算化されるが、同じようなことが起きないのか伺いたい。
 - (7) 対策についてはどのようにしていく考えなのか伺いたい。
 - (8) この問題について、どのように考えるか阿部副市長の見解を伺いたい。
- (要望) 氏名の「ふりがな」が違っているという問題は、行政のみならず、広く多くの市民に知っていただいて、住基ネットや戸籍システムの運用を行っていくというセーフティーネットを作っていただきたい。

1 窓口業務民間活用事業について

- (1) 今年度、中区、瀬谷区の証明発行窓口や新杉田行政サービスコーナーに民間従事者を導入したが、その検証結果を伺いたい。
 - (2) 民間従事者導入による経費の削減効果を伺いたい。
 - (3) 2008年度の戸籍電算化事業の概要について、また、業務委託する民間事業者の選定の考え方を伺いたい。
 - (4) 電算化や委託化により、4割の業務が省力化されると聞いているが、どのような理由からなのか、また、それによる職員の削減はあるのか、伺いたい。
 - (5) 戸籍の電算化に伴う業務委託の導入は、個人情報保護の点で問題があると思う。民間活用の拡大はあまりにも拙速であると思うがどうか。
 - (6) 窓口業務民間活用事業は市場化テストでないと聞いているが、何故なのか理由を伺いたい。
- (要望) 電算化や委託化により、職員の削減はしないよう要望する。
- (要望) 民間活用は拙速に勧めるべきでないと要望する。

2 男女共同参画推進事業について

- (1) 男女共同参画センターにおける過去3年間のDV相談件数について、人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。
 - (2) 相談件数が増加しているが、その理由は何か、また、増加する相談者への支援策をもっと充実すべきではないかと考えるが、今後どのように取り組んでいくのか、人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。
 - (3) 加害者対策について、具体的に進める必要があると思うが、今後の対策についての考え方を人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。
- (要望) 国の動向もあると思うが、加害者対策を進めてほしい。

1 横浜市コールセンター事業について

- (1) 横浜市は、今まで3桁化に向けどのように取り組んだのか。
 - (2) 横浜市の要望を受けて国の検討はどのように行われたのか。
 - (3) 連絡会議で検討された主な課題は何か。
 - (4) 連絡会議での検討結果はどのようなものか。
 - (5) 3桁化へ向け、今後、横浜市としてどう対応するのか。
 - (6) 都市経営戦略の見地から、大都市だけで3桁化を進める考えがあるか阿部副市長に伺いたい。
- (要望) 横浜市として、3桁化実現へ向けて、国への働きかけを続けるよう要望するとともに、併せて大都市が力を合わせて実現に向けて可能性を追求することを要望する。

2 スポーツ振興費について

- (1) 教育委員会から市民活力推進局へスポーツ担当部門を移管したねらいについて改めて伺いたい。
- (2) 地域でのスポーツ活動を支援するために、現在どのようなことを行っているのか。
- (3) 市体育協会と区体育協会との連携はどの程度進んでいるのか。
- (4) 総合型地域スポーツクラブに期待する役割は何か。
- (5) 市スポーツ振興基本計画では、各区に1か所以上、総合型地域スポーツクラブを設立するとしているが現在の設立状況はどうか。また、20年度はどの程度の設立を見込んでいるのか。
- (6) 計画期間終了後の総合型地域スポーツクラブ数に目標値などはあるのか。
- (7) 総合型地域スポーツクラブの設立や運営に係る課題にどのようなものがあるのか。
- (8) 総合型地域スポーツクラブに対してどのような助成制度があるのか。
- (9) 阿部副市長は何かスポーツをしているのか。

- (10) 学校予定地や河川敷、遊水池などの公有地や、活用されていない農地や米軍接收跡地など、一定の広さを持つ土地をスポーツ施設として開拓していく姿勢が必要だと思いますが、阿部副市長の考えを伺いたい。
- (11) ジュニア競技力向上事業はどのような内容なのか。
- (12) 20年度には、どのような国際規模の大会を予定しているのか。
- (13) 20年度予算に新たに計上した、JOCパートナー都市協定の概要について伺いたい。
- (14) JOCパートナー都市協定を締結する意義について、阿部副市長に伺いたい。
- (要望) 一定の広さを持つ土地をスポーツ施設として活用することについて、関係局区はもとより神奈川県や体育協会などと連携して「研究会」などを立ち上げ、特区の申請など柔軟な発想で前向きに検討することを要望する。
- (意見) 横浜からオリンピック選手が出るなど、子どもたちに夢と希望を与えるスポーツ行政であっていただきたい。

3 個性ある区づくり推進費（自主企画事業）について

- (1) 20年度の自主企画事業の編成にあたっては、どのような点に重点を置いて編成したのか、中区長に伺いたい。
- (2) 同様の質問について、保土ヶ谷区長に伺いたい。
- (3) 協働による取組や地域主体の活動を支援していくような事業展開が重要と考えるが、どのように事業に取り組んでいくのか、中区長に伺いたい。
- (4) 同様の質問について、保土ヶ谷区長に伺いたい。
- (5) これまで自主企画事業から局の事業に転換された事業はどのようなものがあるのか。
- (6) 区役所が局と連携しながら地域の課題に取り組んでいくことができるよう、自主企画事業費の充実を図る必要があると考えるがどうか。
- (意見) 区の個性や独自性を発揮するとともに、区役所の取組が市全体として市民サービスを向上させ、市民の満足度をたかめられるよう自主企画事業費の充実に努力していただきたい。また、区に任せること、局で行うことを明確にしながら選択と集中の観点で引き続き事業を進めていただきたい。

1 魅力ある窓口づくり推進事業について

- (1) 19年度窓口サービス満足度調査の結果についての局長の所感を伺いたい。
 - (2) 窓口サービス満足度調査の結果を踏まえ、魅力ある窓口づくり推進事業をどのように進めていくのか。
 - (3) 区役所における窓口対応の向上にあたっての基本的な考え方や方向性について、伺いたい。
 - (4) 区役所窓口の職員力の強化に向けて、阿部副市長の考え方を伺いたい。
- (意見) 窓口対応の向上については、地道な取組とは思いますが、是非、力を入れて取組んでいただきたい。

2 区における地域自治の推進検討について

- (1) これまでの自治会町内会などの地域活動をどのように評価しているのか。
 - (2) 「区における地域自治の推進検討」はどのように取り組んでいくのか。
 - (3) 今後、地域活動をより活発化させていくには、区役所をどのようにしているのか。
- (意見) 区への分権や区の機能強化を進め、柔軟でタフな区役所にすることも局の役割であると考えます。

3 市民力発揮推進事業について

- (1) 19年度の横浜ライフデザインフェアはどのような結果だったのか。
- (2) 各区では19年度にどのような取組をおこなってきたのか、その実績と、そこから見えてきた課題は何か。
- (3) 2回目となる20年度には、横浜ライフデザインフェアはどのような工夫を考えているのか、またスケジュールはどうなっているのか。
- (4) 20年度は市民力発揮推進事業全体をどう進めていくのか。

(意見) 団塊の世代をはじめとした市民の方々に、自分が住む地域や横浜に対する郷土愛を持ってもらい、さらに地域での様々な活動を始めていただくことが必要であり、継続的な取組を進めていただきたい。

4 新市政広報紙発行业について

(1) 「広報よこはま」市版と「新市政広報紙」はどのような点が異なるのか。

(2) 新市政広報紙の取材・編集を行う民間事業者は、どのように選定しているのか。また、選定にあたって重視していく点は何か。

(3) 5,000万円の予算で、新市政広報紙を発行していくことができるのか。

(4) 150周年記念事業について、新市政広報紙ではどのような広報を行っていくのか。

(意見) 若い世代にも、150周年記念事業に積極的に参加していただき、改めて横浜の良さを認識し、地元横浜のために貢献したいという機運を盛り上げるような広報紙を期待する。

5 女性起業支援事業について

(1) 19年度の本事業の実績について、人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。

(2) 「起業家たまご塾」で支援を受けた人の事業プランについて、特徴的なものや傾向はあったか、人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。

(3) 事業を推進していくうえでの課題は何か、人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。

(4) 20年度はどのように事業を進めていくのか、人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。

(意見) 本事業の支援を受けた女性たちによって、「起業家集団」が形成され、横浜のまちの活性化につながるような大きな成果が生み出されることを期待する。

6 上郷・森の家運営事業について

(1) 19年度に上郷・森の家で実施した経営改善に向けた取組及びその効果について伺いたい。

(2) 企業研修など団体にも利用されているのか、団体利用の取組と実績について伺いたい。

(3) どのような経緯で野外活動施設用地を取得することになったのか。

(4) 今後の施設運営について、どのように考えているのか。

(意見) 上郷・森の家は、自然と接する機会の少ない子どもたちが自然とふれあい、また、お年寄りにとっても健康増進などに寄与する貴重な施設なので、よく多くの方が利用しやすい施設となるよう取組の継続をお願いする。

1 市民活動共同オフィス事業について

- (1) 現在の共同オフィスの概要について伺いたい。
 - (2) 団体間でどのような連携・交流が生まれ、どのような成果につながったのか伺いたい。
 - (3) 市民活動共同オフィス事業の評価及び今後の方向性について伺いたい。
- (意見) 今後の市民活動共同オフィス事業のあり方の検討にあたっては、団体の自立に向けた支援の視点もふまえ、検討されることを期待する。

2 男女共同参画センター運営事業について

- (1) 男女共同参画センターが市民との協働事業に取り組むことの意義について、人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。
 - (2) 19年度では、具体的にどのような協働事業を実施したのか、人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。
 - (3) 男女共同参画センター3館それぞれに特徴的な協働事業はあるのか、人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。
 - (4) 市民との協働を進めていくうえでの課題はあるのか、人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。
 - (5) 課題を踏まえ、男女共同参画センターとしてどのように取り組んでいくのか、人権・男女共同参画担当理事に伺いたい。
- (意見) ワークライフバランスの実現に向けた働き方の改革は、大きな取組なので関係機関と連携しながら、先駆的な取組を展開してもらいたい。

3 芸術文化教育プログラム推進事業について

- (1) 芸術文化教育プログラム推進事業のねらいと、これまでの実績について伺いたい。
- (2) 芸術文化教育プログラムを実施した結果、教員や子どもたちからはどのような声が届いているのか。

- (3) 継続して実施した学校ではどのような成果があったのか。
- (4) 学校現場の理解を得るために、どのような取組をしているのか。
- (5) 20年度の実施校は何校か。また、今後、実施校を拡大していくにあたって、どのような取組を行っていくのか。
- (要望) 子どもたちの創造性を育む芸術文化教育プログラムを、今こそ、多くの学校で取組む必要があると思っている。子どもたちによりよいカリキュラムを提供できるように、教育委員会との連携を密にさせていただくことを要望する。

4 2009横浜国際トライアスロン大会について

- (1) この大会は、どのような内容のスポーツイベントなのか。
- (2) この大会の参加者数はどれくらいになるのか。
- (3) 「世界こどもスポーツサミットin横浜」はどのような内容か、また、どのような成果を期待しているのか。
- (4) 大会を開催するうえでの課題は何か伺いたい。
- (5) 現在のコース設定の取組状況について伺いたい。
- (6) 渋滞対策等にあたり、どのような工夫をされたのか。
- (7) 「世界キッズトライアスロン大会」での横浜港の水質や安全対策はどうか伺いたい。
- (8) このトライアスロン大会で予定している市民参加のボランティアの内容と今後の予定について伺いたい。
- (9) このトライアスロン大会を横浜らしいスポーツイベントとして育てるために、継続して開催する考えはあるのか。
- (要望) 横浜開港150周年を記念した、このトライアスロン大会を横浜らしいスポーツイベントとして育成し、横浜の風物詩として市民に親しんでもらいたいと思うので、この大会の継続開催を要望する。